

第 1 回 泉陽中学校・森中学校統合準備会

日時：令和元年 5 月 27 日（月）午後 7 時 30 分～

会場：泉陽中学校 ランチルーム

1 開会

2 教育長あいさつ

3 全体会議

（1） 統合準備会組織について

（2） 統合準備スケジュールについて

（3） 各部会（分野）における検討事項について

4 連絡事項等

次回統合準備会の予定

日時：令和元年 6 月 27 日（木）午後 7 時 30 分～

会場：森中学校 ランチルーム

5 閉会

泉陽中学校・森中学校 統合準備会組織名簿 <分野別>

R 1.5.27

分野・活動内容		所 属	役 職	氏 名	備 考
教育分野 ○教育目標等 ○教育課程 ○行事計画 ○防災計画 ○幼小中連携 ○学校用品 ○部活動	会 長	教育委員会	教育長	比奈地 敏彦	
	委員長	森中学校	校長	鈴木 一由	
	副委員長	泉陽中学校	教務主任	水上 伸治	
	進 行 				

泉陽中学校・森中学校 統合準備会組織名簿 <所属別>

R 1.5.27

所 属	役 職	氏 名	所属分野 ()は兼務する分野		備 考
泉陽中学校	校長	寺田 敦朗	通学分野	委員長	
	教頭	小金澤 克仁	事務(通学)	委員長	
	教務主任	水上 伸治	教育	副委員長	
	教諭	西川 正	PTA	委員	
	教諭	杉山 稔泰	教育	委員	
	教諭	宮本 敬利	式典(教育)	委員長	
	教諭	池谷 怜明	式典	委員	
	主事	山本 聡一郎	事務	委員	
森中学校	校長	鈴木 一由	教育	委員長	
	教頭	松田 真和	PTA(教育・事務)	委員長	
	教務主任	松下 恭子	通学	委員	
	教諭	杉山 高久	教育	委員	
	事務主任	寺畑 恵吏	事務	委員	
泉陽中学校PTA	会長	木下 道雄	教育(PTA・式典)	委員	
	母親代表	吉筋 由香利	通学(PTA・式典)	副委員長	
森中学校PTA	会長	友田 裕人	教育(PTA)	委員	
	副会長	村松 義人	通学(PTA)	委員	
三倉小学校PTA	生活部 部長	鈴木 かなこ	教育	委員	
	地区委員長	小川 絢子	通学	委員	
天方小学校PTA	会長	曾根 敏行	教育	委員	
	副会長	奥宮 浩二	通学	委員	
森小学校PTA	H30副会長	安藤 寛	教育	委員	
	H30副会長	山口 照美	通学	委員	
三倉地区町内会連絡会	黒田町内会長	河口 一也	教育(式典)	委員	
	三倉町内会長	宇田 勝己	通学(式典)	委員	
天方地区町内会連絡会	鍛冶島町内会長	瀧下 和俊	教育(式典)	委員	
	大鳥居町内会長	中村 俊彦	通学(式典)	委員	
森地区町内会連絡会	開運町町内会長	鈴木 薫	教育	委員	
	南町町内会長	小川 康男	通学	委員	
森町民生委員児童委員協議会	主任児童委員	赤坂 幸彦	教育	委員	
教育委員会	教育長	比奈地 敏彦		会長	
	学校教育課長	塩澤 由記弥	教育	委員	
	学校教育課長補佐	岩井 秀司	通学	委員	
	学校教育課主幹	土屋 智也乃	教育	委員	
	学校教育課主幹	石黒 智己	通学	委員	

泉陽中学校・森中学校 統合準備スケジュール

年度	平成30年度		平成31年度（令和元年度）																								令和2年度													
月	2月	3月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月	5月
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
準備会						第1回			第2回						第3回						第4回						第5回						第6回							
町 教 育 委 員 会	意見・要望の 聴取		条例改正 事務			議会 学校設置条例 改正(中学校)			学級編制関係・学校廃止届 県教委へ						規則等例規改正事務						10月末 12月補正 〆切			議会 補正予算 計上			統合直前事務全般						引越作業							
	町による説明		課題の洗い出し・検討・対応																																					
		統合準備に向けた 地域・保護者への状況説明 随時																																						
		学校施設の活用等について検討（町による検討会の設置）																																						
学校	交流計画の 作成		生徒・保護者・教職員の交流 統合を前向きに捉えた生徒の心の耕し(不安感の払拭)																																					
			教育分野		・教育目標 ・教育課程 ・行事計画 ・学校用品 等の検討						・教育目標 ・教育課程 ・行事計画 ・防災計画 ・部活動 等の決定						・学校用品(12月補正)補助内容の決定						・令和2年度に向けて準備						閉校行事 式典 閉校誌											
					通学分野		・通学方法 ・通学支援方法 ・バス運行時刻 ・乗降場所 ・通学路、通学時の安全確保 等についての詳細						・通学支援について町との調整 ・通学補助、乗降場所、通学時の 安全確保等 (12月補正に向けて) 決定						・通学に関することについて 詳細決定																					
							PTA分野		・PTA組織 ・PTA規約 ・PTA行事 ・役員選出方法 等 検討						・PTA組織 ・PTA規約 ・PTA行事 ・役員選出方法 等 決定						・PTA役員選出 ・令和2年度PTA組織編制																			
事務分野		・備品、図書室蔵書等確認 ・文書確認 ・移動、譲渡、廃棄リスト作成等							・移動、譲渡、廃棄準備 ・譲渡備品等他校への照会 ・廃棄作業・新規購入備品等の確認 (12月補正に向けて)						・備品設置場所等確認 ・予算要求						・引っ越し準備 ・廃棄作業						引越作業													
		式典分野		・閉校式典の検討 ・閉校誌の発行計画						・閉校式典計画の詳細 ・閉校誌の執筆依頼、資料収集、原稿作成						・閉校式典準備 ・閉校誌の原稿作成・印刷						・閉校式典準備 ・閉校誌配布(発送)準備																		
保護者																																								
地域																																								
月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月																								

内容

1 教育目標等

※両中学校が、両校の良さをのばすために検討を重ねてきた新しい教育目標や経営計画等について確認し、決定する。

■学校教育目標 ■学校経営計画 ■具体的な取り組み

2 教育課程

※統合後の具体的な運営に向けて、日課表や行事の時期、校内生活のきまりの内容等を調整するなど、両校の運営の細部を検討する。

■年間教育計画 ■週時程、日課表 ■学校運営組織 ■校内生活のきまり ■部活動

3 行事計画

※学校行事の内容、運営方法の細部を検討する。

■年間行事計画 ■修学旅行、宿泊体験学習等の計画 ■運動会等の計画

4 防災計画

※通学区域が広くなることから、防災計画全般の見直しを行う。

■防災計画全般 ■警報発令時 ■東海地震に関する「観測情報」発表時、地震発生時等の対応

5 地域との関わり

※両校がこれまでにやってきた地域交流活動等を生かした教育活動を検討する。

■祭典 ■地域交流活動等

森中学校経営構想

2019年度グランドデザイン

校訓

自主 協同

国・県・町の基本方針

国:「生きる力」の育成
県:「有徳の人」づくり
町:「こころざし」をもち、
たくましく生きる子の
育成

目指す生徒像

未来を支える人

自主 明確な目標を持ち、自らを高める生徒
協同 仲間を大切にし、力を合わせて生きる生徒

生徒の実態

○ 明瞭で人なつこい
○ 人間関係の固定化
○ 礼儀、規範意識や挑戦する
気概に欠ける

学校教育目標

共に学び 共に生きる

～友と学び 友と生きる～

森町いじめ撲滅スローガン
自分がされていやなことは人に
しない言わない

森中いじめ撲滅スローガン
何気ないその一言はいじめかも

重点目標

- 社会に通用するコミュニケーション力（聞ける生徒の継続）
 - ・ 人の思いを真摯に受け止め、自己の思いを誠実に伝える態度の育成
 - ・ 社会の一員として最低限必要な品格や品性の育成
- 志をもち、人として成長しようとする力
 - ・ 自らの将来を見つめ、努力し続けようとする態度の育成
 - ・ 仲間と力を合わせて、課題に立ち向かう優しさと強さの育成



学級間の横の連携
学年間の縦の連携



強さと温かさをもった学級経営

経営の重点

<人として>

- 道徳の時間を要とした、
よりよい生き方の指導の
実践
- 学級経営を基盤とした、
他者を理解し、受け入れ
る態度の育成

- ・ 自分を見つめ直すことが
できる生徒 85%
- ・ リーダーに協力し、活動で
きる生徒 90%

<中学生として>

- 基礎・基本の確実な習得による
確かな学力の育成
- 授業改善を通じた主体的・対話的
深い学びの実現
- 人間形成を目的とした
適切な部活動指導の実践

- ・ 授業がわかる生徒 80%
- ・ 自分の考えと比べて友達
の発表を聞ける生徒 80%
- ・ 心身を鍛えることができる
生徒 80%

<社会の一員として>

- 教育活動全体を通じた、社
会人としての内的成長を促
す指導
- 地域・社会との連携による、
社会を支える意識の高揚
- 防災・安全教育を通じた、
危機管理意識・危険回避
能力の育成

- ・ ルールを守り生活できる
生徒 85%
- ・ 地域の行事に進んで参加
できる生徒 80%
- ・ 防災訓練に進んで関わる
生徒 85%

<PDCAサイクルによる取組>

<校内コンプライアンス委員会の設置> <生徒・保護者アンケート年2回実施> <学校評議員による学校関係者評価>

〔校区一貫研の推進〕
共通実践項目の指導
挨拶・読書・ノーメディアデー

〔保護者との連携〕
PTA挨拶運動
家庭学習の見届け

〔地域への貢献〕
地域活動・防災訓練
ボランティア活動への参加



山々の谷間に滔々と湧き出る泉のような清らかな人

陽当たりのよい学舎で学習に励み、すくすくと育って、社会に出て正しく明るく活躍する人

訓 校
協 自
同 主

天の時

「閉校の年」「最後の」をモチベーションを高める手立てとし、より良いものを目指す

「残す」

閉校に伴う様々な行事を通して歴史に刻む

「繋ぐ」

統合後の森中に何をどのような形で引き継いでいくか考え、進める

◇学校教育目標◇ 志をもち 鍛える たくましい生徒

「志」…地域を愛し、地域に感謝し、地域に貢献するんだ、という志。そのような志のもと、苦しいこと、困難なことに怯まず、負けず、自分の力を伸ばし、自分にできることで地域に貢献する。
重点目標「県下一きれいな学校を目指す取組の中で、そんな生徒を具現化していく。」

知 研修・学習部

自分の考えを自信を持って表現できる生徒
自分の考えを表現することができる (85%)

徳 特活・健康部

心と身体の自己管理ができ、苦しいことにも挑戦する生徒
自分の成長のためにステージ目標を意識して生活し、苦しいことにも挑戦する (85%)

体 生活安全・生き方部

自分や仲間を大切にできる思いやりのある生徒
MYプラン清掃では清掃の方法や活動を工夫しながら意欲的に取り組む (100%)

教師 教務部

人間性、専門性を高め、生徒・保護者・地域住民に信頼され、慕われ、敬われる教職員 学校が楽しい (95%)

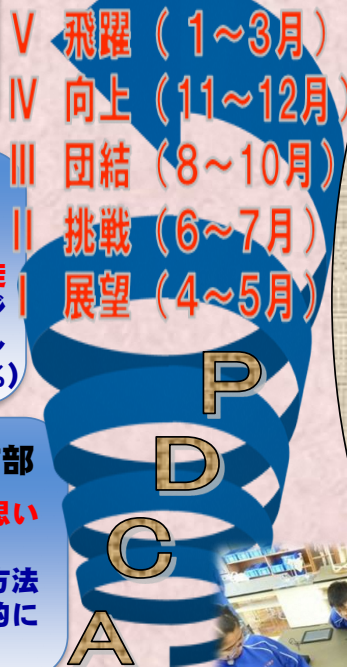
人の和

やりがいの向上

- ・泉陽中最後の年に勤務する職員の一期一会
- ・少人数の職員だからこそ和を大切にし、輪に繋げる
- ・カリキュラムマネジメントを推進し、より良い教育活動を展開

勤務環境改善

- ・PDCAを機能させ、業務内容を精選
- ・チームで取り組み、共助意識の醸成
- ・ミライムによる勤務実態の把握



地の利

生徒

- ・少人数の強み
- ・素直で誠実
- ・高い勤労意欲
- ・真面目な学習態度

保護者、地域

- ・地域の子どもを大切に見守る姿勢
- ・地域との連携により社会に開かれた教育課程を実現
- ・豊かな自然
- ・学校HP、学校便りの発信
- ・泉陽中校区一貫教育研究により、「人と関わり合い、自己を高める子」を育てる

泉陽中学校と森中学校の主な年間行事 (令和元年度)

泉陽中学校	月	森中学校
☐ 始業式 入学式 ☐ 通学区会 避難訓練 ☐ 修学旅行 (3 年) ☐ フィールドワーク (2 年) ☐ ふるさと学習 (1 年) ☐ 地域を知る日 ☒ PTA 理事・評議員会① ☐ トイレ清掃① ☐ 参観会 ☒ PTA 総会	4 月	☐ 始業式 入学式 ☐ 通学区会 避難訓練 ☐ 修学旅行 (3 年) ☐ フィールドワーク (1・2 年) ☒ PTA 総務会・運営委員会 ☐ 交通安全教室 ☐ 参観会 懇談会 ☒ PTA 総会
☐ 生徒大会 ☐ 生徒理解の会 ☐ 中間テスト ☐ 地区体育大会 ☐ 校区一貫教育の日 ☐ 進路学習会 ☐ 交通安全教室 ☐ 学校評議員会 ☐ 民生委員と語る会 ☐ 小中連絡会	5 月	☐ 生徒集会 ☐ 中間テスト ☐ 地区体育大会 ☐ 校区一貫教育の日 ☐ 体育祭
☒ PTA あいさつ運動 ☐ 期末テスト	6 月	☐ 授業公開週間 (3 日～14 日) ☐ 小中連絡会 ☐ 学校評議員会 ☐ 期末テスト ☐ 授業を見せ合う会 (森小)
☒ PTA 理事・評議員会② ☐ フォーラム泉陽 学級懇談会 給食試食会 ☐ 生徒会選挙 ☐ 終業式	7 月	☐ 保護者授業参観週間 (1 日～5 日) ☐ 参観会 懇談会 給食試食会 ☐ 生徒集会 ☐ 終業式
☒ PTA 親子奉仕作業 ☐ 始業式 ☐ 避難訓練	8 月	☒ PTA 奉仕作業 ☐ 始業式 ☐ 避難訓練
☒ PTA 挨拶運動 ☐ 陽光祭 (体育祭) ☐ 小中陸上交流 (天方小)	9 月	☐ 生徒会会長選挙 ☐ 思春期講座 ☐ 福祉体験 (1 年) ☐ 職場体験 (2 年) ☐ 進路学習 (3 年)
☐ 中間テスト ☐ 生徒大会 ☐ お弁当の日 ☐ トイレ清掃②	10 月	☐ 中間テスト ☐ 生徒集会 ☐ 地域の方から話を聞く会 ☐ ときわ祭

泉陽中学校	月	森中学校
☐ 泉祭 ☐ 校区一貫教育の日 ☒ PTA 挨拶運動 ☐ 期末テスト ☒ PTA 理事・評議員会③	11月	☐ 生徒総会 ☐ 期末テスト ☐ 校区一貫教育の日 ☐ 参観会 懇談会 ☐ 避難訓練
☐ 3年生三者面談 ☐ 校内持久走大会 ☐ 授業参観 学年懇談会 1年親子学級 ☐ 学校評議員会 ☐ 縦割り交流活動 ☐ 終業式	12月	☐ 学年生き方指導委員会 ☐ 3年生三者面談 ☐ 終業式
☐ 始業式 ☐ 百人一首大会 ☐ 入学説明会 ☒ PTA 挨拶運動	1月	☐ 始業式 ☐ 通学区会 ☐ 入学説明会 ☐ 1年親子学級
☐ 学校評議員会③ ☐ 民生委員と語る会 ☐ 学年末テスト ☒ PTA 理事・評議員会④	2月	☐ 学校評議委員会② ☐ 進路講座（1・2年） ☐ 学年末テスト ☒ PTA 新旧役員引継会
☐ 生徒大会 ☐ 3年生を送る会 ☐ 小中連絡会 ☐ 卒業式 ☐ 修了式 ☐ トイレ清掃③ ☐ 校内離任式	3月	☐ 3年生を送る会 ☐ 小中連絡会 ☐ 卒業式 ☐ 修了式 ☐ 校内離任式

■は、PTA 関係行事

定例実施

☐ 学校きれいの日

（7月8月を除く毎月実施）

☐ ノーメディアデー

（5・6・10・11・2月に実施）

通学分野

内容

1 通学方法

※各校における通学路や通学方法の状況を確認し、統合後の通学路や通学方法について検討する。

■通学路の安全確保 ■自転車通学の範囲 ■通学費の補助

2 バス通学

(1) バス路線の現状について

(2) スクールバスの公共交通に与える影響の検討について

(3) 既存の交通体系を活かした通学方法の検討について

※「教育分野」で検討される教育課程計画にあわせて、バス運行について検討する。

■登校時、下校時のバス運行の状況把握と検討 ■特別な日課への対応

(4) 各路線の改善策について

※通学路の状況等を考慮し、乗降場所（バス停）を検討する。

■登校時、下校時の時刻表 ■乗降場所（集合場所・バス停）

泉陽中学校・森中学校統合準備会（通学分野）

第1回統合準備会説明事項

1 森町のバス路線の現状について（平成30年度実績見込み）

	秋葉線(秋葉バス)	大河内線(町営)	吉川線(町営)
国県補助 (町営は県補助のみ)	10,874,000円	848,000円	1,312,000円
森町補助 (町営は委託料)	9,154,000円	4,125,600円	6,314,760円
浜松市補助	6,821,000円	—	—
袋井市補助	3,376,000円	—	—
輸送人員 大人：中学生以上 小人：小学生以下	大人 89,928人 小人 5,705人 合計 95,633人	大人 442人 小人 1,911人 合計 2,353人	大人 2,094人 小人 1,509人 合計 3,603人
輸送量	21.1人	—	—

※秋葉線は、輸送量が15人未満となると国県補助の対象外となる。その場合は、市町の補助額が増える見込み。

※輸送量…平均乗車密度（バスに乗車している人数の全区間（起点～終点）での平均。
 $\text{運送収入} \div (\text{賃率} \times \text{実車走行キロ}) \times \text{運行回数} (1 \text{ 往復で} 1 \text{ 回 (年間} 1 \text{ 日平均)})$

2 スクールバスの公共交通に与える影響の検討について

(1) 秋葉線・吉川線沿線

秋葉線と吉川線は森中学校付近まで経路となっているため、スクールバスを運行する場合、経路の大半が秋葉線又は吉川線の経路と重複する。特に、秋葉線の赤字分を森町、浜松市、袋井市が協調補助を行っており、秋葉線と経路が重複することにより秋葉線の利用者が減り国県補助落ちとなると、秋葉線利用者減少の原因が森町にあるため、スクールバスの運行経費に加え最大で国県補助分（平成30年度実績で10,874,000円）の負担を森町に求められる可能性がある。

また、秋葉線は、袋井駅から気多までの唯一のバス路線であり、天竜高校春野校

舎等に通う生徒の通学や通院、買い物など行政区を越えた広域の移動手段として重要な役割を担っている。仮に国庫補助落ちとなった場合には、その先に秋葉線撤退の可能性が出てくる。以上のことを考えると秋葉線・吉川線沿線においてスクールバスを走らせることは難しいと判断している。

(2) 大河内線沿線

大河内線の利用者の約8割が児童である状況であるが、一方では、少数ではあるが高齢者の通院や買い物など大人の利用者の移動手段としても使われている。児童生徒のためにスクールバスを走らせることにより、大河内線の利用者が激減し大河内線の運行維持が難しくなる恐れがある。

大河内線利用生徒の森林組合前での秋葉線への乗り換えを解消するため、大河内線の車両のまま森中学校付近のバス停まで運行することについては、関係する交通事業者の理解を得られれば実現できる可能性がある。

3 既存の交通体系を活かした通学方法の検討について

秋葉線、大河内線、吉川線において、児童生徒の利用が多く、バス路線の維持に大きく貢献している。児童生徒の利用がなければ路線そのものが撤退となる可能性がある。そのため、既存の路線を有効に活用することが、将来にわたり地域の交通体系を維持することとなる。既存のバス路線を利用する場合のバス停と時刻の例は以下のとおり。

なお、時刻は平成31年4月1日現在のものである。

(1) 秋葉線沿線

行き	田能入口	7:25	→	慶長橋	7:49
帰り	慶長橋	12:08	→	田能入口	12:30
帰り	慶長橋	14:41	→	田能入口	15:03
帰り	慶長橋	15:41	→	田能入口	16:03
帰り	慶長橋	16:23	→	田能入口	16:45
帰り	慶長橋	17:32	→	田能入口	17:54
帰り	慶長橋	18:58	→	田能入口	19:20

(2) 大河内線沿線

行き	大河内	7:06	→	森林組合前	7:29	⇒	慶長橋
帰り	慶長橋	⇒	森林組合前	12:27	→	大河内	12:50
帰り	慶長橋	⇒	森林組合前	15:00	→	大河内	15:23
帰り	慶長橋	⇒	森林組合前	16:42	→	大河内	17:05

※森林組合前で大河内線⇄秋葉線の乗り換えが必要

(3) 吉川線沿線

行き	栗の島	7:37	→	慶長橋	7:52
帰り	慶長橋	12:10	→	栗の島	12:25
帰り	慶長橋	14:32	→	栗の島	14:50
帰り	慶長橋	15:42	→	栗の島	15:57
帰り	慶長橋	17:28	→	栗の島	17:43

4 各路線の改善策について

各路線の改善策として、以下の事項を調整し、推進する。

(1) 秋葉線

慶長橋バス停を森中学校付近の運行経路上に移動する。

ダイヤについては、袋井駅での接続や他の系統との接続があるため、変更は困難。

(2) 大河内線

森林組合前での秋葉線への乗り換えを解消するため、大河内線の車両のまま森中学校付近のバス停まで直行することを検討する。この場合の利用者は、秋葉線の利用者減にならないよう、児童生徒に限る。

帰りの時間に合わせたダイヤへ見直す。ただし、森中学校付近から大河内線終点の下島までの往復に2時間弱を要するため、秋葉線・吉川線に比べ便数が少なくなる可能性がある。

(3) 吉川線

慶長橋バス停を森中学校付近の運行経路上に移動する。

慶長橋を16時台に乗車できる便を設ける。

慶長橋を18時台後半に乗車できる便を設ける。

内容

1 PTA 規約

※統合後の PTA 活動に向けて、両校の PTA 規約を検討する。

■PTA 規約

2 PTA 組織

※統合後の PTA 活動に向けて、両校の役員組織や役員の人数、役割を検討する。

■PTA 役員組織案 ■専門委員の活動内容、組織案

3 役員選出方法

※統合後の PTA 役員選出時期、選出方法を検討する。

■役員選出方法

4 PTA 行事

※統合前の PTA 活動に相違がある「資源回収」などについて、行事内容や実施方法の詳細を検討する。

■資源回収 ■親子奉仕作業 ■運動会等、学校行事への参加、協力

5 PTA 会計

※統合前の両校の PTA 会計処理を行い、統合後の PTA 会計計画について検討する。

■PTA 会費 ■繰越金

事務分野

内容

1 備品の整理等

■備品等の確認 ■備品等過不足点検 ■文書等の整理、廃棄・移転準備 ■備品等の移転、譲渡、廃棄の仕分けとリスト作成 ■新規購入備品の計画 ■図書館蔵書の過不足と補充等の計画 ■図書館蔵書の移転、譲渡、廃棄の仕分けとリスト作成

2 備品等の活用

■譲渡対象備品や図書他校等への照会

3 備品の移動

■備品等の移動（引越） ■備品等の廃棄 ■備品等の新規購入

4 予算関係

※備品の移動に関する予算要求、執行を行う。

■備品等の移動（引越）に関する予算関係 ■校内表示、図書用バーコードラベル等の更新に関する予算関係 ■備品等の新規購入に関する予算関係

式典分野

内容

1 閉校式典計画

※泉陽中学校閉校にかかる式典を行うための詳細な計画の立案を行う。

■閉校式典日程 ■式典次第 ■式典参加者、来賓 ■予算関係

2 閉校式典準備

※泉陽中学校閉校式典の開催に向けて必要な準備を行う。

■式典案内の作成、発送 ■会場内表示等の作成 ■会場準備

3 閉校式典運営

※泉陽中学校閉校式典当日の運営を行う。

■司会進行等

4 閉校誌発行計画

※泉陽中学校の歴史を長く地域に残すための「閉校誌」を編集、発行する計画を立てる。

■閉校誌の内容検討 ■編集、印刷、配布計画 ■予算関係

5 閉校誌編集

※泉陽中学校閉校誌の原稿を作成したり、印刷業者と必要な打合せをしたりして編集作業を行う。